

シャレール東豊中「どんぐり山を守り育てる会」

【応募者】 氏名：独立行政法人都市再生機構 西日本支社長 福永清 勤務先名：独立行政法人都市再生機構 西日本支社 勤務先住所：大阪府大阪市城東区森之宮1丁目6番85号
 連絡先：（担当者：技術監理部 造園設計チーム 岩本一良）TEL(06) 6969-9213 FAX(06) 6969-9017 Email: iwamoto-k@ur-net.go.jp
 氏名：どんぐり山を守り育てる会 古川 いつ江 勤務先名：どんぐり山を守り育てる会

【応募理由】
 都市機構賃貸住宅建替事業に伴い、団地住民と都市機構とでワークショップを開催し屋外空間計画づくりへの取組みを継続的に行なった。その結果として、団地の森『どんぐり山やきのこ山』を保全、育成、活用する、住民主体の森のマネジメント組織が設立された。この取組みを通じて、都市部に住まう人々が身近な森を守り育てながら、楽しみを見出す自然環境との付き合い方を身につけ、団地住民や地域住民とのコミュニティ継承を図るシステムを構築するひとつの方向性を示すことができた。

【作品または活動の概要】
 事業主体：独立行政法人都市再生機構西日本支社・どんぐり山を守り育てる会
 設計者：独立行政法人都市再生機構西日本支社
 施工者：株式会社日本パーク、株式会社旭工務店
 事業制度：賃貸住宅団地建替事業
 敷地面積：約 59,300㎡・建築面積：約 13,700㎡・建築規模：集合住宅棟 19棟（5階～13階）、大集会所 1棟、小集会所

2棟、店舗棟1棟・住戸数：729戸・緑地面積：約 25,500㎡（約 43%）・どんぐり山面積：約 5,550㎡・きのこ山面積：約 1,400㎡
 ①都市機構賃貸住宅建替にあたり、平成12年度、15年度、16年度の3期にわたり団地住民と都市機構とによる緑のワークショップを開催。その結果、どんぐり山・きのこ山は身近な自然資産として貴重かつ重要な森であることを認識し、再整備の必要性を再認識した。
 ②平成16年 都市機構のサポートのもと『どんぐり山を守り育てる会』を設立し、どんぐり山・きのこ山の保全育成活動を開始した。
 ③平成17年 『どんぐり山を守り育てる会』は、どんぐり山の保全育成のため、活動目的外の樹林内への立入りを自粛・制限するとともに、落ち葉ダムづくりや観察記録会など樹林環境向上のための行動を行う。
 ④平成18年 『どんぐり山を守り育てる会』と東豊台小学校、都市機構は、現地より雑木の実生苗を採取し、一年間苗場で育成させ、平成19年のどんぐり山再整備に合わせて植樹した。
 ⑤現在も地域住民と連携をはかりながら良好な保全育成活動を展開中。

【作品または活動の特色】
 ①森のマネジメント活動の実施：林床手当、樹林管理、落ち葉集め、堆肥づくり、生態環境の多様性の向上など森の維持育成と回復活動を定期的かつ継続的に実施。
 ②森を楽しむイベントの開催：周辺住民を対象に自然観察会やどんぐり工作会など、四季折々のイベントを開催し、森の新しい楽しみを地域で共有。
 ③市域への周知、連携活動：地域のイベントや豊中市内の活動団体が展示を行う『とよなか市民環境展』でパネル展示を行い、活動周知と他団体との連携をはかる。
 ④人的ネットワークの形成：『NPO法人とよなかアジェンダ21』や『鳥熊山の雑木林を守る会』など、市域の市民活動団体と連携をとり、講師派遣や実地体験、情報交換などの活動ネットワークを構築。
 ⑤教育現場との連携：隣接する東豊台小学校と連携し、総合学習授業の一環として組み込むことで、継続的な森の育成記録を行う。



どんぐり山・きのこ山は、シャレール東豊中の前身である東豊中第一団地の建設時に保全された雑木林で、かつて、山は木々・下草が生い茂り、たくさんの生き物を育む元気な森であった。近年、落ち葉や表層の土壌が流出して、枯れ木が目立つようになり森全体が衰退してきた。そこで、団地住民を中心にどんぐり山・きのこ山を考える「緑のワークショップ」を開催し、森を保全・育成していくための組織として「どんぐり山を守り育てる会」を設立した。



緑のワークショップ：緑のワークショップによる、どんぐり山の保全育成を考えるプランづくり。



整備前の森の散策会：どんぐり山の現状を確かめる散策会の様子。自然豊かなどんぐり山は地域住民から親しまれ利用されてきたが、過度の利用で落ち葉や表土が流出して木の根が地上に露出し、森全体の樹勢が衰えてきた。



林床の落ち葉ダムづくり：落ち葉や表土の流出を防ぐため、現地の枯れ枝などを集めて杭で止めた落ち葉ダムを設置した。



土砂流出防止の石垣としがら：山の崩壊地は、空石積やしがらなどの多孔質土止めを設置し表土の流出を抑えると共に生物生息環境の向上をはかった。



整備後の植樹会：拡張したどんぐり山の裾野を中心に苗木を植樹し、記念樹の森を育成している。



森の育成記録会：東豊台小学校の児童が定期的に森を調査し、どんぐり山の育成記録を行っている。



とよなか市民環境展でのパネル展示：どんぐり山を守り育てる会では、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21が主催する「とよなか市民環境展」に出展し、活動PRや市内の他団体との交流・情報交換を行っている。